

ワインの郷 かみのやま

「偉大なワインを作るには、次なる人
が必要である。狂人がぶどうを育て、
賢者がそれを見張り、正気の詩人がワ
インを造り、愛好家がそれを飲む」。スベ
インの画家サルバドール・ダリの言葉で
す。良質なワインは、生産者、醸造家の
ひたむきな探究心と費えることのない情
熱によって生まれます。寒暖差の激しい
気候と水はけがよく豊かな土壌。長年に
わたり培われた栽培技術でぶどうに情熱
を注ぎ続ける生産者。そして、そのぶどう
の力を存分に引き出す醸造家。ここ山
形県上山市には、ワイン造りに必要な
ものすべてが揃っています。



動画をみたくたい

2015年、官民をあげて「かみのやまワ
インの郷プロジェクト」を発足。ワイン
特区認定をはじめ、ワイナリー創業や
ワインぶどう栽培のための就業支援、
オリジナルワインなどの商品開発など、
ワインを通じてこのまちで多くの人が活
躍できるよう、そして想いがつながるよ
う取り組んでいます。

ワインを支えるぶどう生産者たち

日本一と呼ばれたデラウェア
農家が、この土地をさらに生
かしたいと就労開始。研
究修で訪れたフランスの農場
などでの出会いがワインぶどう
づくりへの想いに火をつけ、上
山の風土が良質なワインぶ
どう栽培に導いていることを確
信。「いつの日か上山をワイン
の郷にしたい」と夢を抱き、そ
の情熱を次代に引き継いでき
ました。40年前に、彼らが描
いた「明日の農業に夢を！」を
胸に刻み、これからもうかがた
ワインの未来を支え続ける。

明日の農業に夢を！
ぶどうにロマンと
情熱をかける日々

JAやまがた南部営農センター
果樹部会ワインぶどう部会



ぶどうの主な産地は、タタラワイナ
リー、新井ワイナリー、延喜寺ワイナ
リー

左から、山田 龍二、松本 龍二、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二

パイオニア
ワインぶどう生産者
裏付けされた
あくなき挑戦に
ひたむきな想いと

南果連協同組合ワイン部

果実専門の生産出荷団体で
ある南果連ワイン部は昭和49
年に結成。大手免許メーカー
がワインぶどうの栽培適地を
求め、全国各地を探していた
ところ、市果連の「デラウェア」
の圃場とその生産技術の高さ
に惚れ込み、決意。「高品質な
ぶどうを」の想いのもと、数あ
る栽培工程の一場面ごとに
講習会を開き技術を磨くほか、
自ら20項目の基準を設け、
各圃場を格付けし切磋琢磨
を続けてきました。大手ワイナ
リーはその想いを受け「かみの
やま」が商品名に入ったワイン
を醸造しています。

ぶどうの主な産地は、タタラワイナ
リー、新井ワイナリー、延喜寺ワイナ
リー



左から、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二、山田 龍二

名峰・蔵王連峰の麓に広がる山形県上山市。城下町、
温泉町、南郷町の3つの顔を持つ全国でも珍しいこ
の地は、豊かな食文化を育んできました。ワインもその一
つ。上山のワインは、かみのやまの風土・歴史・人の魅力を凝縮した逸品です。貴方の特別な時間や普段の癒
しのひとときのためにぜひお供させてください。



かみのやまのワイン
お宿と
温泉とワイン
ゆかたとワイン

山形ワインバル
2014年にスタートした「やまがたワインバル」。
毎年、国内外からワイナリーとワインファン
が上山に集結。熱い日々を過ごします。
山形ワインカーヴ
越前のかみのやま温泉駅西口すぐ。山形
ワインバル出産ワイナリーとワインファン
が上山に集結。熱い日々を過ごします。



観光と宿泊のご案内は...
(一社) 上山市観光協会物産協会 TEL.023-672-0839

発行:かみのやまのワインの郷プロジェクト協議会



上山のワイナリー、すべてがここに。

<1>

TAKEDA WINERY

タケダワイナリー

「良いワインは良い葡萄から」1920年開園の老舗ワイナリー



南向きの高台にある15haの自社農園で、東京ドーム2.5倍分の面積を誇る自社圃。開園以来、過剰な施肥を排除し、自然のサイクルを最大限活かした減農薬・無化学肥料によるぶどう栽培をおこなっています。長い歴史と、高い技術力で醸されるワインは、日本トップクラス。全国に多くのファンを持ちます。



<2>

WOODY FARM & WINERY

ウディファームワイナリー

かみのやまのテロワールを活かすドメスワイン



雨の日の多くテロワールに恵まれた蔵王山麓の自社圃で、9種のぶどうを栽培し、醸造、瓶詰めまでを行うドメスワインです。ショップではワインの試飲や購入、園内工房で手づくりしたジャムやドライフルーツなども販売しています。



<3>

BELLWOOD VINEYARD

ベルウッドワイナード

風と空と畑と人と。土地の味わい香るワイナリー



山形県内のワイナリーで19年間のキャリアを積み、栽培から醸造、お客様に届けるまですべてに手をかけたという思いから2020年、ワイナリーを設立。ワインを飲めば、蔵王連峰を望む美しい雄渾と田園風景が浮かぶワインづくりをしています。



<4>

DROP

ドロップ

ぶどう畑の四季を表現、街中で楽しめるワイナリー



2019年に就農し、ワインぶどうの栽培を続けてきた出来さんが2023年に、金沢のワイナリーをオープン。ワインスタンドが併設されており、作り手と対話しながらワインを楽しむのはドロップならでは。自然の恵みをそのままに春夏秋冬を表現したナチュラルワインがここにあります。



<5>

南東北サンシャインファーム

ミナミトウホクサンシャインファーム

農業を元気にしたい
農業とお客様に寄り添うワイン



農業機械の販売・整備などを行う南東北が、様々な形で農業支援を実現するために開設。減農薬などの蓄積したノウハウをいかし将来的には機械化と管理システムで未来の農業を目指しています。



<6>

La Família

ラファミリア

いくつもの想いが重なり
時間を紡ぐワインになる



地元ワイナリーの研修で出会った2人が意気投合。それぞれの感性でワインづくりを追求し、あたたかな想いのこもった1本に仕上げています。クラスの中で表情が変わっていくワイン。いろいろな人や場面合う包容力のあるワインを目指しています。



<7>

ふぁーすと・すてつぷ

社会福祉法人 友愛会 蔵造部地支援事務所

かみのやまのぶどう畑から
踏み出す、未来への第一歩



障がいを持っている人の自立支援として始めたぶどうづくり。「自分が出せる事を一杯に」をモットーに、栽培における作業も互いに協力しながら取り組んでいます。さらに、今後はワインの醸造、販売まで関わりたいという思いで、人が集まるワイナリー完成を目指します。



<8>

À PIED

アピエ

美しい景色のもとで生まれる
風味豊かなブレンドワイン



上山の園地を訪れた際に「良いワインは良い景色のところで生まれる」という師の言葉が体現された場所だと感じ、2018年に移住。良い時も難しい状況の時もワインづくりと真摯に向かい合い、アピエの域となる赤と白の混醸ワインはファンを魅了しています。



<9>

Nora(野良)

ノラ

美味しいぶどうを作る
個性派グループ



「良いものを作っているからこそ、自分たちのぶどうにワインに込めて伝えたい」と自然を大切に。畑の酵母で醸したワインは、雑味がなくクリア。畑の様に寄り添って優しい気持ちにさせてくれるそんなワインを目指し、彼らの挑戦は続きます。



<10>

つきはし果樹

ツキノハシフルーツ

新世代が受け継いだ
ぶどう農家の新たな一歩



2011年、結婚を機に上山市に移住した紫安さん。40年前からぶどう栽培を続けてきた義父の想いを引き継ぎ、ワインづくりを始めました。紫安さんのカベルネ・ソーヴィニヨンと義父のメルローを混醸し、2つの歴史を紡ぐ唯一無二のワインに仕上げています。



<11>

Aguri-Coeur

アグリクール

かみのやまの土壌が育む
個性が光るナチュラルワイン



元ソムリエの片寄さんは本場フランスでワイン醸造を学んできました。飲食店やワイナリーで経験を積み、2022年上山市に移住。ぶどうの園地栽培に挑戦し、この土地でしかつくれない、テロワールを最大限に感じられるワインを目指しています。



・かみのやまのぶどうを使う理由・

01 サントリーワイン インターナショナル

「世界を感動させる日本ワイン」を目指し、厳選された国内4ヶ所の指定産地で風土や品種の個性を活かすワインづくりに取り組んでいます。その一つである上山のぶどうから、蓄積した果実味のある「香り豊かなワイン」が生まれます。栽培家とともにその魅力を表現していくために「かみのやま」とラベルに記しています。



02 サントネージュ

よいぶどう栽培に欠かせない気候風土が押し出し、テロワールを生み出す「人」とともにぶどうづくりに力を注ぎ、その個性を最大限に引き出すことを使命として、生産者とワインの作り手の強い絆が、醸成した果実味と芳醇な味わいを生み出しています。

